三者で取り組む協働型学校評価の重点目標と取組指標

（★成果指標，☆取組指標）

(1)あったか言葉：「心を温め　通い合わせる　言葉遣いができる」子供を増やす

取　組	評価指標（案）（※印：改善シート，学級経営案へ反映）
①教職員が率先してあいさつしたり，あったか言葉で声をかけたりする	☆子供や地域の方に声をかけ，協力を仰ぐことなどをとおして，子供たちや地域の方々とかかわっているか。 ※
②場にふさわしい言葉遣いや相手を思いやる言葉（あったか言葉）について指導する	☆朝の会，お便り等で，場にふさわしい言葉遣いやあったか言葉に関する話題を取り上げているか。 ※
③言葉や可視化等の方法で，心に響くように，具体的に褒める。	★様々な機会をとらえ，言葉遣いやあったか言葉ができた児童を，言葉や可視化等の方法で褒めているか。 ※
④相手の気持ちや意見を聞いて考え，話すことができる指導・授業をする	☆相手の気持ちや意見を聞いて，自分の考えを話そうとしているか。
⑤子供一人一人の表情を見取りながら話す	★「先生に相談しやすい」と答える子供が増えたか。（目標９０％）

(2)きらきら行動：「みんなのために　できることをする」子供を増やす

取　組	評価指標（案）
①掃除当番や靴箱，ロッカーの整理整頓など，自分の役割を果たす	★掃除当番に進んで取り組み，教室や廊下をきれいにしているか。（目標９０％） ※
②様々な場面で，子供が活躍できる機会をつくる。	☆係活動，当番活動，集会，授業中の役割など，子供が活躍できる機会をつくるようにしているか。
③みんなのために役立とうと努力した子を取り上げ，言葉や可視化等の方法で，心に響くように具体的に褒める	★様々な機会をとらえ，役割を果たしたり，進んで役に立とうとしたりしている児童（行動）について，言葉や可視化等の方法で褒めているか。 ※
②地域行事に参加したり家庭での役割を果たしたりする	★家族や友達，地域の人など，誰かのために進んで役に立とうとするようになったか。（目標９０％） ※
③係活動など，責任を果たしたり，進んで取り組んだりした子供を褒める。	☆実行したこと，できたことを褒めたり，お便り等で保護者に知らせたりしているか ※

《学校評価アンケートから見える「保護者・地域・子供たちからのメッセージ」》

○子供と教職員，教職員と地域・保護者の「かかわり」が向上
○子供同士に「かかわり方」を学ばせる必要（問題を乗り越えさせる経験）
○子供たちの自己肯定感・規範意識（マナー・安全）を高める取組が必要→家庭の協力が必須
○教育活動や方針・取組を伝える→「職員一人一人が学校の顔」という意識
○学校・家庭・地域（三者協働）で，それぞれの立場で「私たちの学校」という意識の向上を！